

乳癌手術を受けられる患者様へ（80歳未満）

（入院診療計画書）

年齢 歳

経過	入院日（火曜日）	手術前日（水曜日）	手術日（術前）	手術日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目で以降	退院
月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
安静度	自由です。（外泊はできません）	自由です。（外泊はできません）		ベッドの上で足を曲げたり寝返りはうてます。	着替えをします（看護師がお手伝いさせていただきます）。 着替えた後歩行できます。 	自由 	自由	自由	自由	湯船に入るのは外来で抜糸してからになります。
お食事	常食です。（差し入れは自由です）	常食（差し入れは自由です） 夜9時以降食事が出来ません 夜0時以降は飲水も出来ません	手術中		回診後より水やお茶を飲めます。 夕食より全粥が出ます。（可能ならば昼から食べても差し支えありません。）	朝より普通食となります。 				
検査	心超音波検査 腎機能評価のために蓄尿して下さい。				血液検査があります。（午前6時頃） 胸部レントゲン撮影があります。				血液検査があります。（術後5日目午前6時頃）	
治療処置		入浴して頂きます。（ご自宅に行かれても構いません。） 場合によっては腋をクリッパーで剃ります。 抗生物質のテストをします。（豆注射）	手術前には、眼鏡、時計、入歯、指輪、コンタクトレンズなどははずし、術衣に着がえます。 手術直前には、名前のついた帽子をかぶります。（手術室でご本人の確認があります。）	自室に戻ったら十分な深呼吸をし、咳をして痰を出してください。 痛みがある時、眠れない時は、お薬を使いますのでお知らせ下さい。 手首の運動など軽いリハビリを開始しましょう。（パンフレットをご覧ください。）	朝6時頃酸素マスクを外します。 からだを拭きます。 術衣から病衣に着がえます。	点滴の管を抜きます。		自由 シャツを着る、髪をとかすなどのリハビリを開始しましょう。	ドレーンを抜きます。（11日目ないしは排液量が1日で50ml以下が二日続いたら抜きます。） ドレーンを抜いた後に腋窩に水が溜まる場合は針を刺して抜きます。	退院時に創の処置を行います。 退院後もリハビリを頑張ってください。
お薬		おやすみ前に下剤・睡眠薬を内服してください。 	朝から点滴を開始します。	大きい点滴(500ml) 3本（一晩中点滴をします） 小さい点滴(100ml) 1本（抗生剤）	昼より常用薬を飲んでください。 大きい点滴2本 小さい点滴2本（抗生剤） 夕には点滴が終了します。	朝より腕の腫れを防止するお薬が追加になります。 朝より術前中止薬が開始になります。				
ご説明	入院生活上のことをお話しします。 全体の入院経過の概要をお話しします。 手術後の肺炎予防のため、禁煙をお願いいたします。 手術に必要なものの確認をします。 現在飲んでいらっしゃる薬の確認と今回の入院で処方される薬の説明が薬剤師よりあります。	手術、麻酔について主治医から説明があります、説明に納得されましたら、サイン、捺印をお願いします。 手術室の担当看護師より説明があります。 理学療法士がリハビリの説明に伺います。	手術の順番で時間が確定できないこともあります、時間がわかり次第お知らせします。 家族の方は、手術中、4階談話室か病室でお待ち下さい。 	家族の方には手術終了後の結果について、医師より説明があります。	ゆっくりお休み下さい。 回診時、医師より手術の結果について説明があります。 	管を抜いてからおしこの出にくい時は、お知らせ下さい。 行動の制限はありません、むしろ積極的に動いてください。				退院後、運動や仕事など制限はありません。リハビリを頑張ってください。 次回外来受診日をお知らせします。 薬剤師による服薬指導があります。 
検温	検温 午後1時 朝夕、医師の回診があります。 身長、体重、血圧の測定をします。		7時頃検温、血圧測定します。	3時間おきに検温、血圧測定します。 創の観察、必要に応じてガーゼ交換をします。	検温 午前6時、午後2時、午後6時	検温 午後2時	検温 午後2時			
その他			着替えの前に排泄を済ませてください。	手術中に尿の管が入ってきます。	尿管を午前中に抜きます、その後はじめて尿が出たら教えて下さい。					

平成 年 月 日

状態に応じ予定が異なることも御座います。質問があればどんどん看護師もしくは主治医にお尋ね下さい。

病名		病棟（病室）	
症状	主治医以外の担当者名		
	主治医氏名	柚本俊一	印

その他	
-----	--